

「防災推進国民大会2018」の構想について

平成30年6月



内閣府

1. 概要

国民の防災意識の向上、避難行動の定着等を図るため、国民各層の多様な団体・機関等が一堂に会し、防災に関する総合イベントを実施。

【テーマ】大規模災害への備え～過去に学び未来を拓く～

【日時】平成28年8月27日（土）～28日（日）

【場所】東京大学本郷キャンパス

【主催】第1回防災推進国民大会実行委員会（内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議）

2. 開催実績

- (1) 出展団体数 61 団体
- (2) 出展数 82 催事
- (3) 来場者数

	27日(土)	28日(日)	合計
来場者数（実数）※1	約7,000人	約5,000人	約12,000人
うち安田講堂入館者（延べ）※2	約3,000人	約1,500人	約4,500人

※1 各種指標からの総合判断

※2 ・マンカウンターによる延べ人数（同一人物が2回入場したら2人）
・展示のみの見学者含む

- (4) 動画生中継閲覧数 約1万2千人

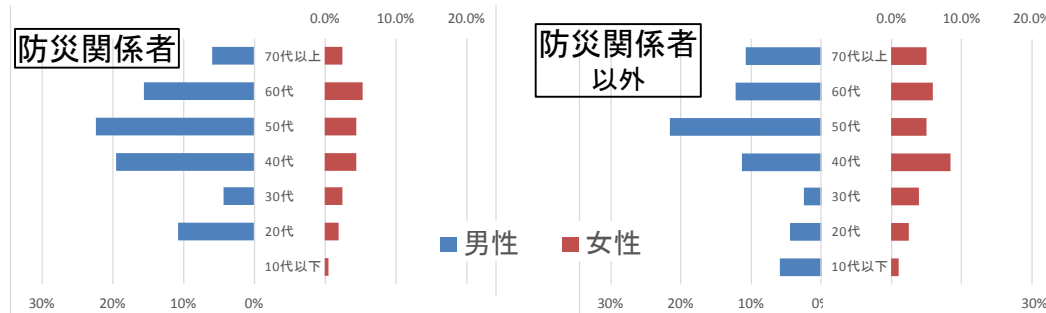
3. アンケート結果

(1) 来場者アンケート

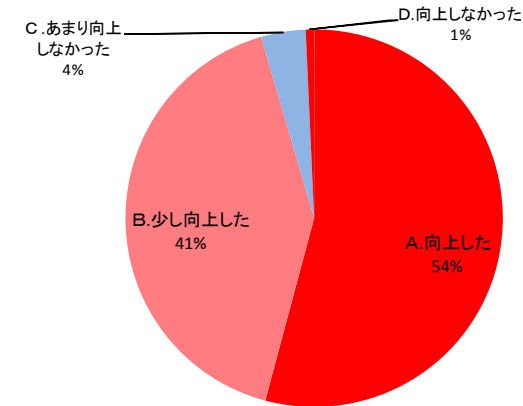
来場者全員を対象にアンケートを実施。442人から回収。

回答者像

- ・男性 73%、女性 27%
- ・防災関係の職業 49%、それ以外 51%

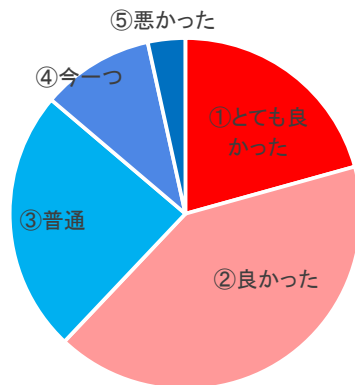


95%が、大会で防災意識が向上したと回答



(2) 出展者アンケート

全出展者を対象にアンケートを実施。
29団体から回収



出展して
良かった以上が約 6 割
普通以下が約 4 割

○肯定的な主な意見

- ・様々な分野の人々、一般参加者と交流できた。PRもできたし、新鮮な刺激も受けた。
- ・プログラムの内容が、一般の人にわかりやすいものが多かった。
- ・政府の取組姿勢がたいへん積極的であった

○否定的な主な意見

- ・会場が分散していた。・案内看板が少ない
- ・並行して開催する講演の数は限定すべき

○次回大会に対する意向

- ・全ての回答が次回以降も出展したいというもの
- ・様々な地方で開催する良い

(1) 概要

国民の防災意識の向上、避難行動の定着等を図るため、国民各層の多様な団体・機関等が一堂に会し、防災に関する総合イベントを実施。

【テーマ】大規模災害への備え ～みんなの連携が力になる防災～

【日時】平成29年11月26日（日）～27日（月）

【場所】仙台国際センター

【主催】内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議

【同時開催】世界防災フォーラム、防災産業展

＜大会ロゴ＞

ぼうさい
こくたい

防災推進国民大会 2017

(2) 開催実績

○ 出展数

- ・セッション : 26セッション
- ・ブース展示 : 49団体
- ・ポスターセッション : 21団体
- ・屋外展示 : 22団体

○ 来場者数 約1万名

○ 動画生中継閲覧数 約1,000名

(3) アンケート結果 (回収数: 788名)

Q. 大会に参加されてあなたの防災意識は向上しましたか。

- ・向上した 51%
- ・少し向上した 46%
- ・あまり向上しなかった 2%
- ・向上しなかった 1%

年齢層: 10代以下13%、20代6%、30代17%、40代24%、50代20%、60代以上20%

防災が専門の方16%、それ以外84%

宮城県内81%、県外19%

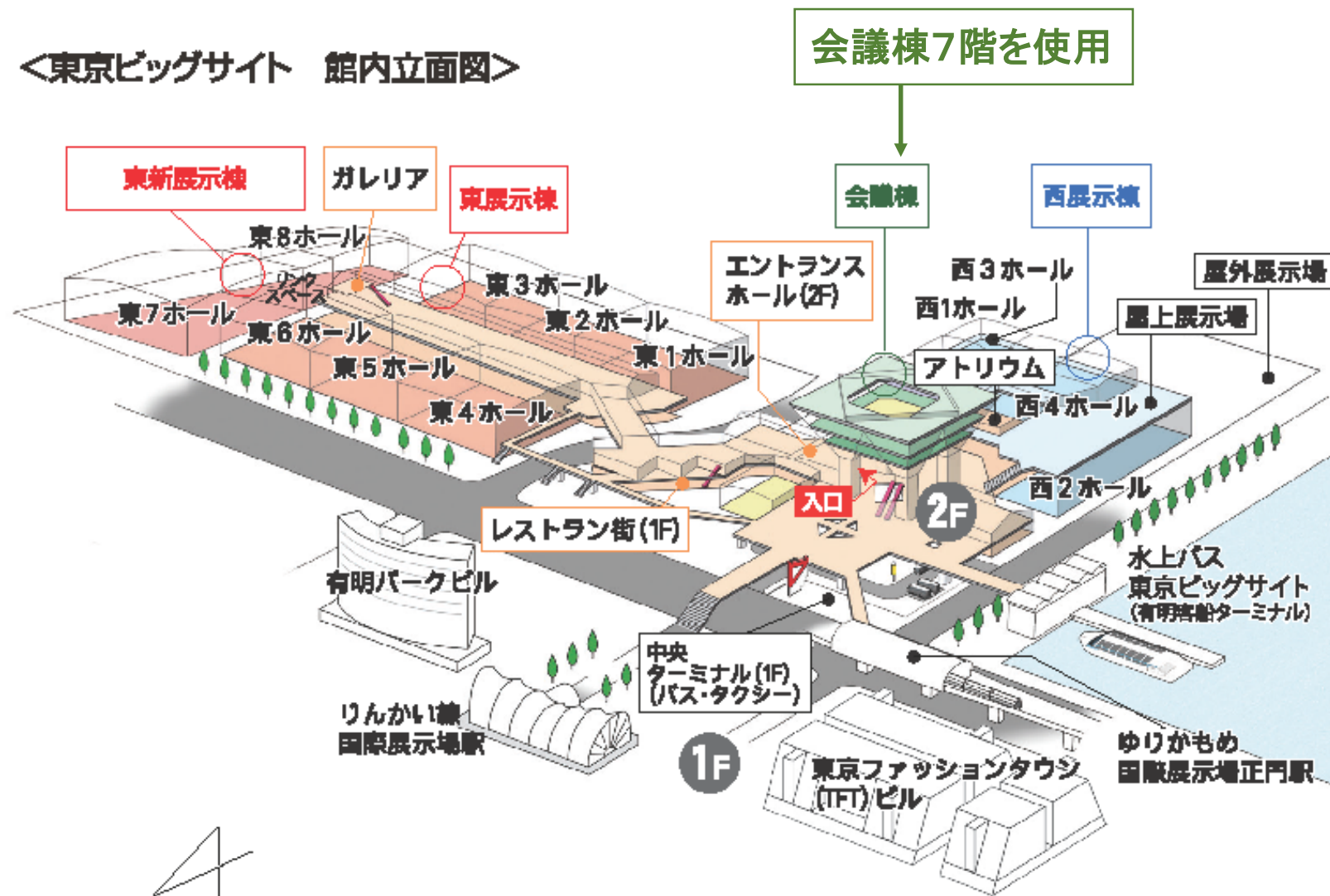
「防災推進国民大会2018」の開催概要（案）

- 日時：平成30年10月13日（土）・14日（日）
- 会場：
 - 東京ビックサイト会場（「セッション会場」（仮称））
 - 東京臨海広域防災公園会場（「パビリオン会場」（仮称））
 - 両会場間を10分間隔程度でバスを運行させる
- 主催：内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議
- 共催：国土交通省（東京臨海広域防災公園）
- 同時開催：東京都防災展



東京ビッグサイト会場（セッション会場（仮称））

<東京ビッグサイト 館内立面図>



(2016年10月25日)



セッション使用(屋内)

① 本部棟

- ・ 内閣府会議室、通路(1階)
- ・ レクチャールーム、食堂(2階)

屋外イベント・使用

② 使用不可

③ 国営公園

- ・ 車両展示に使用、仮設物展示も可

④ 国営公園(園内道路・導線・噴水以外の部分)

- ・ テント設営可

⑤ 都立公園(主に舗装部分)※13日のみ



都立公園舗装部分(ぼうさいモーターショー)

防災推進国民大会2018 タイムスケジュール（案）

10月13日（土）

10月14日（日）

		10	11	12	13	14	15	16	17			10	11	12	13	14	15	16
ビッグサイト	国際会議場 （約1,000名）	オープニング			セッション1		セッション2		セッション3			セッション4		セッション5		クロージング		
	701・702 （約120名）				セッション6		セッション7		セッション8			セッション9		セッション10				
	703 （約120名）				セッション11		セッション12		セッション13			セッション14		セッション15				
	7階フロア	ブース・ポスター展示								ブース・ポスター展示								
そなエリア	レクチャールーム （約100名）				セッション16		セッション17		セッション18			セッション19		セッション20				
		ポスター展示								ポスター展示								
	内閣府会議室 （約150名）				セッション21		セッション22		セッション23			セッション24		セッション25				
	1階フロア	ブース・ポスター展示								ブース・ポスター展示								
	2階フロア	ブース・ポスター展示								ブース・ポスター展示								
	食堂	ワークショップ1,2								ワークショップ3,4								
	屋外	屋外展示								屋外展示								

防災推進国民大会2018 セッション案

10月13日(土)

10月14日(日)

		12	13	14	15	16	17		10	11	12	13
ビッグ サイト	国際会議場 (約1,000名)		地区防災計画 (内閣府)		国際防災 (内閣府)		(防災学術連携体)		防災教育 (防災教育チャレ ンジプラン実行委 員会等)		東京スペシャル (東京都、内閣府)	
	701・702 (約120名)		(国際展開員会、 IRDR分科会)		BCP (内閣府)		ジェンダー (内閣府)		(産業界)		復興支援 (日本赤十字)	
	703 (約120名)		(関係団体)		(損保協会)		水害 (内閣府)		医療 (東北大学)		(関係団体)	
エリア そな	レクチャールーム (約100名)		(関係団体)		(地震学会)		(日本医師会)		被災者支援 (内閣府)		備蓄 (生協連)	
	内閣府会議室 (約150名)		(関係団体)		インクルーシブ (日本財団)		ボランティア (JVOAD)		子供の人材育成 (日本消防協会、 防火・防災教会)		(JBP)	

※テーマ、主催団体、時間・場所は全て仮置き。 凡例: 内閣府主催 関係団体主催

2018 年ぼうさい国大企画（案）

「災害からあなたを守る科学技術との対話」

日時： 2018 年 10 月 13 日（土） 12:30-14:00

会場： 東京ビッグサイト（東京国際展示場）会議室（120 名収容）

主催： 日本学術会議 科学技術を活かした防災・減災政策の国際展開に関する検討委員会（委員長：小池俊雄・水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM）センター長）、土木工学・建築学委員会 I R D R 分科会（委員長：寶馨・京都大学教授）

趣旨： 2015 年に仙台で開催された第 3 回国連防災世界会議では、2020 年までに各国のナショナルプラットフォーム（国家防災組織）や各地方組織の実施戦略を策定することが決定された。そこで科学・技術コミュニティによるナショナルプラットフォーム支援のためのガイドラインの策定とともに、2020 年までの戦略策定に向けて各国の科学・技術コミュニティがどのように参画していくかという点も併せて考えていく必要が生まれた。また、防災・減災の科学技術の現状と在り方、今後の方向性をまとめること（シンセシスの実施）の必要性も求められている。

そこで本セッションでは、防災・減災に関わる政策決定や実務に携わる方々、市民活動を先導する方々と、科学技術を担う専門家が、それぞれの立場からの各ステークホルダーへの期待を提示し、パネルディスカッションにおける対話を通して、今後の協働体制の在り方を議論します。

プログラム（案）：

12:30-12:35	開会挨拶（含む、本企画の背景紹介） 小池俊雄委員長
12:35-12:50	基調講演： 「ソーシャル・ビッグデータと防災の新潮流」 TBC
12:50-12:58	講演（官）： 「市政情報を活かした防災の推進」 東京都三鷹市長 清原 慶子（案）
12:58-13:06	講演（産）： 「LINE を活用した社会課題解決」 TBC
13:06-13:14	講演（市民）： 科学技術の市民活動への還元 公益財団法人 市民防災研究所理事 池上 三喜子
13:14-13:22	講演（学）： 科学技術の National platform へ還元 名古屋大学減災連携研究センター 教授 西川 智
13:22-13:55	パネルディスカッション： 座長：東京大学工学系研究科 特任教授 川崎 昭如 登壇者：講演者全員
13:55-14:00	閉会挨拶： 寶馨委員長